



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年10月31日

上場会社名 株式会社ファンデリー 上場取引所 東  
 コード番号 3137 URL <https://www.fundely.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 阿部 公祐  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 杉田 雅治 (TEL) 03(6741)5880  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の業績 (2019年4月1日~2019年9月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	1,694	1.3	259	△24.7	259	△24.9	164	△25.0
2019年3月期第2四半期	1,673	1.5	345	4.1	345	4.1	219	4.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	25.78	25.50
2019年3月期第2四半期	34.46	34.01

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	6,258	2,909	46.3
2019年3月期	4,279	2,734	63.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 2,895百万円 2019年3月期 2,725百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,802	41.5	934	31.0	783	12.0	501	13.5	78.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	6,429,000株	2019年3月期	6,384,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2020年3月期2Q	—株	2019年3月期	—株
------------	----	----------	----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	6,395,360株	2019年3月期2Q	6,381,269株
------------	------------	------------	------------

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産の弱さが続いているものの、安定した雇用情勢や所得環境の改善等を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、米中両国の貿易摩擦による世界経済への影響や、中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性、また、人手不足の深刻化による人件費や物流費の上昇、消費増税の個人消費への影響など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社におきましてはMFD事業において、定期購入サービスである「栄養士おまかせ定期便」の利用者拡大及び健康食通販カタログ『ミールタイム』及び『ミールタイム ファーマ』の紹介ネットワーク拡大を軸に推し進め、新規・定期購入顧客数の拡大に努めました。

マーケティング事業においては、健康食通販カタログ『ミールタイム』及び『ミールタイム ファーマ』の2誌に掲載する広告枠の販売、また、健康食通販カタログ『ミールタイム』の紹介ネットワークを活用した業務受託についても、新規クライアントの開拓や既存クライアントから複数の案件を獲得しました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は1,694,400千円（前年同四半期比1.3%増）、営業利益は259,989千円（同24.7%減）、経常利益は259,404千円（同24.9%減）、四半期純利益は164,851千円（同25.0%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① MFD事業

当セグメントにおきましては、従来より実施している季節ごとの商品入れ替えのみならず、糖尿病、高血圧など食事療法を必要とされる方に向けた「厚揚げとごろごろ野菜のそぼろミルク煮セット」や「かつおのごま油香るねぎソースセット」をはじめとした新商品を積極的に開発、また、全国の医療機関等へ当社及びサービスの認知度の向上に向けた取り組みによる紹介ネットワークの拡大と深耕を通して新規顧客の獲得に努めました。さらに、当社の管理栄養士・栄養士がお客様の疾病、制限数値、嗜好に合わせて食事を選び定期購入できるサービス「栄養士おまかせ定期便」への積極的な移行を中心として販売に注力しました。

しかしながら、当初見込んでいた施策の費用対効果を再度見直し、実施を取りやめたことから、新規顧客の獲得が計画比で低調となりました。その結果、MFD事業における売上高は1,556,320千円（前年同四半期比5.9%増）、セグメント利益（営業利益）は336,893千円（同6.7%減）となりました。

#### ② マーケティング事業

当セグメントにおきましては、健康食通販カタログ『ミールタイム』及び『ミールタイム ファーマ』の2誌による広告枠の販売、また、紹介ネットワークを活用した業務受託において複数の案件を獲得しました。

しかしながら、一部の案件に実施延期が生じ、その影響を挽回すべく営業活動に邁進しておりましたが、当第2四半期においては、売上高・セグメント利益（営業利益）ともに大幅な計画未達となりました。その結果、売上高は138,079千円（前年同四半期比32.0%減）、セグメント利益（営業利益）は88,731千円（同40.1%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 総資産

当第2四半期会計期間末における総資産は前事業年度末より1,978,836千円増加し、6,258,305千円となりました。これは主に、売掛金の減少100,250千円、商品の減少81,036千円があった一方、現金及び預金の増加261,251千円、未収消費税の増加33,603千円、新工場の建設及び生産設備の取得による建設仮勘定の増加1,850,485千円によるものであります。

#### ② 負債

当第2四半期会計期間末における負債は前事業年度末より1,803,637千円増加し、3,348,729千円となりました。これは主に、未払法人税等の減少51,467千円があった一方、短期借入金の増加1,720,000千円、未払金の増加141,519千円によるものであります。短期借入金の増加は、新工場の建設及び生産設備の取得費用によるものであります。

#### ③ 純資産

当第2四半期会計期間末における純資産は前事業年度末より175,198千円増加し、2,909,575千円となりました。これは、資本金及び資本剰余金の増加がそれぞれ3,015千円、利益剰余金の増加164,851千円、新株予約権の増加4,317千円によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の業績及び今後の見通しを検討した結果、現時点においては2019年4月26日付「2019年3月期 決算短信」にて発表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,950,093	2,211,345
売掛金	248,512	148,262
商品	282,497	201,460
仕掛品	3,342	2,986
貯蔵品	299	212
その他	98,429	148,409
貸倒引当金	△74	△46
流動資産合計	2,583,100	2,712,630
固定資産		
有形固定資産		
土地	516,725	516,725
建設仮勘定	1,100,216	2,950,701
その他	10,581	10,405
有形固定資産合計	1,627,523	3,477,832
無形固定資産	4,796	3,794
投資その他の資産	64,048	64,048
固定資産合計	1,696,368	3,545,675
資産合計	4,279,469	6,258,305
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	105,199	105,276
短期借入金	1,150,000	2,870,000
未払金	73,183	214,703
未払法人税等	154,195	102,728
賞与引当金	23,833	23,198
その他	33,223	27,361
流動負債合計	1,539,634	3,343,268
固定負債		
資産除去債務	5,458	5,461
固定負債合計	5,458	5,461
負債合計	1,545,092	3,348,729
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	274,939	277,954
資本剰余金	224,939	227,954
利益剰余金	2,225,154	2,390,006
株主資本合計	2,725,033	2,895,915
新株予約権	9,343	13,660
純資産合計	2,734,376	2,909,575
負債純資産合計	4,279,469	6,258,305

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	1,673,037	1,694,400
売上原価	665,409	686,710
売上総利益	1,007,627	1,007,690
販売費及び一般管理費	662,381	747,701
営業利益	345,246	259,989
営業外収益		
受取手数料	255	321
その他	337	611
営業外収益合計	592	932
営業外費用		
支払利息	—	1,516
雑損失	400	—
営業外費用合計	400	1,516
経常利益	345,438	259,404
税引前四半期純利益	345,438	259,404
法人税等	125,566	94,553
四半期純利益	219,871	164,851

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	345,438	259,404
減価償却費	2,371	2,791
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△27	△27
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,120	△634
受取利息及び受取配当金	△11	△10
支払利息	—	1,516
売上債権の増減額(△は増加)	△17,749	100,250
たな卸資産の増減額(△は増加)	6,623	81,478
仕入債務の増減額(△は減少)	561	77
その他	△10,699	△43,113
小計	327,626	401,732
利息及び配当金の受取額	11	10
法人税等の支払額	△122,841	△145,916
利息の支払額	—	△1,840
営業活動によるキャッシュ・フロー	204,796	253,986
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△532,341	△1,718,765
敷金及び保証金の差入による支出	△264	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△532,605	△1,718,765
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	—	1,720,000
ストックオプションの行使による収入	1,407	6,030
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,407	1,726,030
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△326,402	261,251
現金及び現金同等物の期首残高	2,128,168	1,950,093
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,801,766	2,211,345

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	MFD	マーケ ティング	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,469,945	203,092	1,673,037	1,673,037	—	1,673,037
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,469,945	203,092	1,673,037	1,673,037	—	1,673,037
セグメント利益	361,076	148,250	509,327	509,327	△164,080	345,246

(注) 1. セグメント利益の調整額は全社費用△164,080千円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	MFD	マーケ ティング	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,556,320	138,079	1,694,400	1,694,400	—	1,694,400
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,556,320	138,079	1,694,400	1,694,400	—	1,694,400
セグメント利益	336,893	88,731	425,625	425,625	△165,635	259,989

(注) 1. セグメント利益の調整額は全社費用△165,635千円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。